

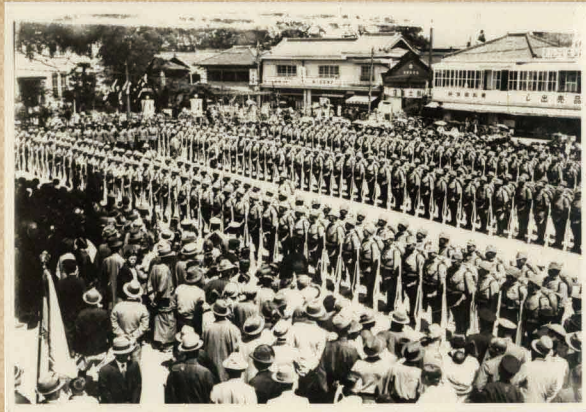
大分の戦争



海軍兵学校軍装（第3種）（大分市歴史資料館蔵）



1日入隊で射撃の訓練を行う第一高女の生徒（個人蔵）



歩兵第47連隊出征 大分駅前整列（個人蔵）



鉄帽（大分市歴史資料館蔵）



硫黄島陣中日誌（大分市歴史資料館蔵）

各章 1 戦前の大分と強まる戦時色 2 軍隊と兵士 3 銃後の守り

日本は1931(昭和6)年に始まった満州事変以降、戦争が続き、大分県下からも多くの兵士が出征し、また郷土も連日空襲を受け、多くの犠牲者を出し、1945(昭和20)年に戦争は終わりました。

今回の展示では、市民の皆様から寄贈を受けた資料を中心に、家族と別れ出征した兵士の状況や、統制下にあった戦時中の市民の暮らしについて紹介します。

■開館時間 9時～17時(入館は16時30分まで)

■開催期間の休館日 7/8(月)、16(火)、22(月)、29(月)、8/6(火)、13(火)、19(月)、26(月)、27(火)、28(水)、9/3(火)、9(月)、17(火)

■観覧料 ※団体は20名以上 **大人** 210円(団体150円) **高校生** 100円(団体50円)

※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介護者1名は無料。(入館時に受付で手帳を提示してください)

大分市歴史資料館 〒870-0864 大分市大字国分960-1

☎ 097-549-0880 📠 097-549-5766

大分市ホームページ(<http://www.city.oita.oita.jp/>)「文化・スポーツ・観光」歴史>大分市歴史資料館」



中学生以下は無料

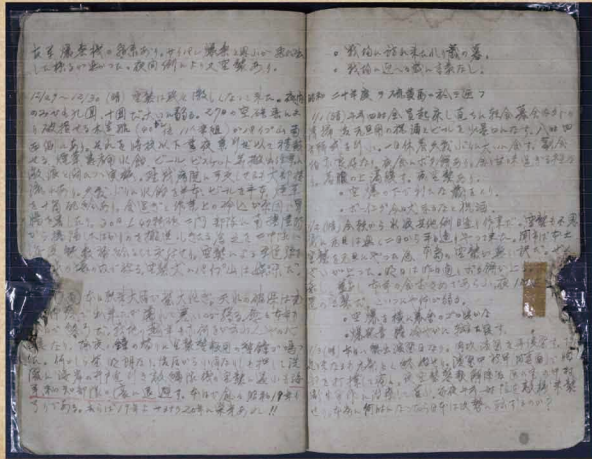


開催期間
7月6日(土)
9月23日(月)

硫黄島陣中日誌 (大分市歴史資料館蔵)

硫黄島は太平洋上の小笠原諸島に近い場所に位置しています。静かな太平洋上にたたずむこの島は、1945(昭和20)年に、戦争における激戦地の1つとなりました。

小笠原諸島で唯一飛行場の建設が可能であったこの島は、日本とアメリカにとって重要な島でした。大分県下からも200人を超える兵士が出兵し、1カ月を越す戦いが起こりました。そして、日本とアメリカに多大な戦死者を出し、アメリカが硫黄島を占領し、戦いは終結しました。



硫黄島陣中日誌の一部 (大分市歴史資料館蔵)

手記の内容 (一部抜粋)

2/29~12/30

空襲は段々激しくなって来た。夜間のみでも九回、十回だ。大いに弱る。27日の空、砲撃によって破損せる木造船(40t位、11人乗組)がパイプ山南西岸にあり。それを将校以下昼夜兼行で以て積載せる、煙草、患者用水飴、ビール、ビスケット等搬出作業に激浪と闘ひつゝ実施。野戦病院に手交しせるも大部横流れあり。久敷振りに水飴を半本、ビールを半本、煙草を十箇配給あり。食過ぎと作業上の冷込が原因で胃腸を害したり。30日、L47耗砲二門部隊に南揚陸場から揚陣したばかりのを搬送しきたる為之を二中隊に海没缺数補給として交付せり。空襲による至近弾を部隊の壕の中で被る。空襲丈はパイプ山は娯楽だ。

大分第47連隊を除隊後に、戦況が悪化すると大阪で再招集され、硫黄島の戦いで戦死した兵士の陣中日誌です。硫黄島の南地区の塹壕で米軍に捕獲されました。

日誌は再招集の昭和19年6月20日から、米軍が硫黄島に上陸する(20年2月19日)直前の昭和20年2月12日まで記されています。

日誌内容には悲壮感はなく日々の任務をこなしていく様子が記されていますが、頻繁に来襲する米軍機や、飲料水と食料の調達に苦勞している様子が伺えます。

日誌には銃弾が貫通したとみられる痕跡もあり、戦闘の激しさを物語っています。

国防婦人会

1932(昭和7)年に軍部の総力戦体制、国防国家体制作りにも全面的に協力する趣旨で設立されました。

銃後の後援強化活動、消費節約廃品回収運動、出征軍人歓送迎事業等の活動を行い、軍部を背景にして家庭婦人のみならず労働婦人の組織化と精神教化に努め、多くの一般女性を戦争協力に動員しました。

昭和17年2月2日、大日本婦人会への統合で解散します。



国防婦人会旗 (大分市歴史資料館蔵)



大日本婦人会の櫛 (大分市歴史資料館蔵)